

こんちわ新聞

第 3259 号

2015 年
10 月 13 日

慶應労組
四谷支部

労働組合第56回 定期大会開催

10月1日労働組合の定期大会で、2015

年の運動方針が採択され、新たなスタートを切りました。この1年間、労働組合はユニオンカフェを月1回の割合で開催し、職場を超えた交流の場を作り、広報活動のため月2回こんちわ新聞の配布、寮前においての活動など、要求作りや団体交渉のほかに、様々な活動を最大限にしてみました。

当日、中央臨床検査室、レントゲン、外来看護、食養管理室等の職場から活発な発言がありました。

長時間労働による身体の疲労蓄積、専任職員が少なく季節休暇が取れていない実態、短期入院で外来での医療処置が多くなっているにもかかわらず人員基準が昔のままであるのはおかしい、食養管理室は新棟開設時に完全委託が予定されているが移行期の今、異動や退職で経験者が減り経験の浅いものが増え質の維持が危ぶまれている状態であることが出されました。

世の中が殺伐とし、パワハラやブラックな職場が多い中で慶応病院にはパワハラやサービスマス残業にNO!といえる基盤として労働組合があること、職場の声を要求として改善させていく組織があること、相談する場があることは重要だと実感しました。

この大会で、「患者の立場に立った医療の確立と、働く者の労働条件の向上・権利拡大を一体のものとして取り組むこと」を基本として運動を進めることが決定しました。

心身ともに健康で働き続けられる職場づくりと、安全、安心の医療・看護を実現するために、運動の前進と組合の組織を拡大することを、大会宣言として2015年度体制がスタートしました。新執行委員長には数十年ぶりに多忙な看護師がなり、皆様の支えが必要です。よろしくお願いたします。



私に何ができる・・・ 新委員長 小林久子

娘が、まだ小学生のころ「私も看護師になりたい」と言っていた時がありました。夜勤がある現実を、どう受けとめていたかはわかりませんが、娘が看護師になった時に、少しでも夜勤を取り巻く環境が良くなっていたら嬉しい、そのために私に何ができるかと考えていた時に、組合の執行委員になってくれないかという話がありました。3人の子育てをしながら、夜勤に復帰して間もなくの事でした。執行委員になり、20数年たちました。娘は、看護師にはなりませんでしたが、他の道を選び、今は子育てをしながら仕事を続けています。親の背を見ていたことには変わらないのかなと思っています。



看護師を取り巻く環境は、少しずつ改善はされてきましたが、毎年、退職者は1割近く出て夜勤回数は平均では7.66回ですが、9回以上の夜勤をしている看護師も多くいます。まだまだ改善をしていかなければいけないところがあります。患者さんの思いに応えられるように、看護師が笑顔で看護できるように、また、すべての職場が健康で働き続けられるように皆さんと力を合わせて労働環境を改善していきたいと思います。迷った時は、原点に戻り前に進みたいと思います。力を貸して下さい。

困ったことがありましたらいつでも組合に相談して下さい。よろしくお願いいたします。



いのちまもる「10・22 国民集会」に参加しましょう!

2015年10月22日(木)

13:00~16:30 日比谷野音にて

参加できる方は、組合事務所までお知らせ下さい。

内線 62020 ☒k-yotsuya@keio-union.or.jp

秋のハイキングのお誘い

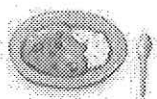
日時 11月8日(日) 雨天 11月15日(日)

場所 大野山

参加費 100円(豚汁代)

主催: 慶応労組四谷支部山岳会「山小屋」

問合せ: 組合事務所(62020)



ユニオン Café

カレーを食べて元気に頑張りましょう!

10月29日(木) 11時~15時 組合事務所 会費 200円

様々な職場・職種の人と出会えるユニオンカフェに気軽に足を運んでください。